

1 施設の概況

- しのばず荘では、利用者の居住空間の利便性・快適性の向上を目標に様々な改善を行ってきた。特に平成 29 年度は厨房・食堂の全面的な改修を行い、清潔で明るい食事空間を確保できた。平成 30 年度は更に共用空間のリフォーム等を推し進め、安全で快適な生活環境を整えていく。
- 利用者支援の充実強化を目的に、新たに所内作業やボランティア活動の導入を行い、利用者の活動域を広げていく。
- 精神科の通院者が 5 割を超える現状にあり、よりきめ細やかな支援が必要となっている。職員の支援力向上を目的に職員学習会の開催など様々な取組みを行う。また、円滑な地域移行ができるよう社会復帰促進事業やステップハウスの利用など、退所後の支援を見据えた支援プログラムを確立していく。
- 平成 29 年度同様、超過入所を積極的にを行い特別区のニーズに応えていく。

2 主要目標と取組

- (1) 利用者支援の向上
 - ① 入所時から支援目標・支援期間を意識した働きかけを行う。
 - ② 所内作業の導入と充実（切手・リボン・押し花等）
 - ③ 「しのばずスタイル」の展開
標準利用期間 10 か月での支援が困難な方について、入所時から地域支援事業利用期間（6 か月）を想定し、通所事業スタッフと連携したプログラムを進めていく。
 - ④ 地域の主要連携クリニックとの意見交換会実施
- (2) 職員の支援技術向上
 - ① 新人職員主催の簡易学習会実施 ② 利用者支援会議への参加
 - ③ 施設内マニュアルの随時改訂と整理 ④ 利用者支援手引きの改訂 P T への参加
 - ⑤ ラインとスタッフによる多面的な支援経過の記録化を検討
- (3) 地域福祉への貢献
 - ① 地域生活安定を目指した O B 支援事業の充実強化（要領の見直し）
 - ② ボランティア参加促進とボランティアの積極的受入れ（ボランティア名簿の整備等）
 - ③ 大江戸清掃隊（台東区環境美化キャンペーン）のグレードアップ（清掃範囲拡大）
 - ④ 台東区社会福祉協議会との連携強化及び地域協議会への参加検討
- (4) 人材育成
 - ① 支援マニュアルを活用した O J T と効果的なスーパーバイズ実施
 - ② 外部講師を招聘したケース検討や職員学習会の定期的開催
- (5) 安全対策
 - ① 不審者対応強化（所内研修実施とマニュアル作成） ② 土砂災害対応訓練実施
- (6) 年間入所目標（対定員利用率）

定員	30 年目標	29 年度目標	29 年度実績（見込）
100 人	130 人（130%）	155（155.0%）	121 人（121%）

3 管理運営

- (1) 日常の援助
 - ① 事前見学時から利用目的を意識した働きかけ ② 専門相談を活用した早期のアセスメント ③ 本人・関係機関と共に自立支援計画を策定 ④ アセスメントに基づいた日中活動奨励 ⑤ 小グループワーク等を活用したエンパワーメント ⑥ 活力を引き出す支援としての就労支援の充実強化
- (2) 自立促進・転出促進
 - ① 就労前段階として所内作業やトライワークを活用した支援強化
 - ② 活力を引き出す就労支援の継続強化。就労ガイダンス・個別相談・技能講習等をハローワークやジョブステーションと連携して行う。

- ③ 若者サポートステーションや障害者総合支援法に基づくサービス等地域資源の積極的活用
- ④ 転宅ガイダンスやバックアップセンター事業の活用
- ⑤ ステップハウスや社会復帰促進事業の積極的利用
- ⑥ 通所訪問事業やOB支援事業を活用した継続支援実施

(3) 給食関係

- ① 利用者に応じた食事計画（治療食含む）と適切な提供及び栄養評価と改善の実施
- ② 給食業者の提供システム（セントラルキッチンで製造した食事を急速冷却し提供するシステム：モバイル食）を活用した朝食献立取り入れによる、安定した3食提供・質の確保
- ③ 施設生活に潤いとハリを持たせる行事食の実施（季節行事食8回/年・バイキング食2回/年・誕生月食事会1回/月）により、利用者の食への関心を高めQOL向上を図る。
- ④ 自炊生活を見据えた調理実習と第3次食育推進基本計画重点課題に基づく食育を併せて『調理食育教室』とし、10回/年実施
- ⑤ 栄養相談（随時）個々の課題に応じた相談及び食生活指針に沿った指導を実施
- ⑥ 保健栄養教室3回/年（1回は集団栄養指導として『生活習慣と運動』をテーマに開催）

(4) 諸行事

- ① カラオケ会（月1回） ② 映画会（月1回） ③ 誕生月食事会（月1回）
- ④ 利用者懇談会・フロア懇談会（月1回） ⑤ 大江戸清掃隊（月1回）
- ⑥ カラオケ大会（年1回） ⑦ 運動プログラム（年3回）
- ⑧ 所外行事（バスハイク等 年2回） ⑨ 節分会（年1回）
- ⑩ 就労・転宅・アルコールガイダンス（各月1回） ⑪ 調理・食育教室（年10回）
- ⑫ 各種グループワーク

(5) 消防・防災等

- ① 消防避難訓練（月1回） ② 消防用設備定期点検、非常通報機定期点検（年2回）
- ③ 大規模災害に備え、BCPに基づく防災訓練の実施と防災備蓄品の整備
- ④ 土砂災害訓練の実施 ⑤ 不審者マニュアルの作成と訓練実施

(6) 職員会議等

- ① 引継会議（毎朝・夕方5時） ② 職員・指導会議（月2回）
- ③ ケース検討会（年4回） ④ 小グループ会議（運営会議・更生会議他）
- ⑤ 給食連絡会（月1回）

4 保健衛生・環境整備

(1) 保健衛生

- ① 入所時看護師面接による疾病及び服薬の状況把握
- ② 嘱託医による入所時診察（月6回） ③ 定期健康診断（年2回）
- ④ 感染症予防対策（インフルエンザ予防接種の実施と手洗いうがいの励行）
- ⑤ 定期的な居室訪問による体調把握と居室の清潔保持支援（看護師等による居室点検月1回）
- ⑥ 保健栄養教室開催（年3回） ⑦ 健康相談（随時）

(2) 環境整備

- ① 建物保全業務の徹底 ② 業務員・専門業者・利用者清掃当番による清掃の徹底
- ③ 廊下壁面のリフォーム ④ 居室の畳替えなど利用者スペースの美化
- ⑤ 裏庭等の環境整備 ⑥ 害虫駆除の徹底 ⑦ 水槽・グリストラップ清掃
- ⑧ 台東区ごみ減量事業への積極的な参加

5 施設の社会化（地域交流事業及び施設機能強化推進事業）

- (1) 環境美化、防災対策を通しての地域との交流促進
- (2) 実習生の受入れ（社会福祉士）4校8人予定
- (3) 福祉事務所対象の施設説明会実施 (4) 地域連絡懇話会開催（年2回）
- (5) 台東区社会福祉協議会との連携強化（地域連絡協議会への参加検討）
- (6) 地域関係機関等を招聘しての職員学習会の開催
- (7) ボランティアの積極的受入れ (8) OB支援強化